



開物成務

☆☆子どもたちの安全を守る☆☆ スマホ・SNS時代の問題について

1学期にご協力いただきました「SNS・ネット利用の状況と家庭のルール・フィルタリングの実態」について県全体の結果（別紙）が送られてきました。「ルールを決めている」という回答の割合が増えていることは大変よいことですが、「守らないときもある」との回答の割合も増えています。ルールを子どもと相談して決め、定期的に話し合い、見直すことが必要です。

SNSを介したトラブルは増加傾向にあり、かつ悪質化・巧妙化している現在を考えると大変心配です。機器を使用させているご家庭は、お子さんの使用状況について、別紙を参考に今一度確認いただくとともに、定期的な確認をお願いします。（先日、他県で「オンラインゲームの音声会話機能」を使い「一緒にゲームをやろう」と誘い出す事件がありました。ネットで怖いのが、親の知らないうちに子どもが厳しい状況になっていたり、犯罪に巻き込まれたりする危険性があることです。「うちの子に限って」「うちの子は大丈夫」と思い込まずに確認を！！）

以前、専門家の方からお話をお聞きする機会がありましたのでご紹介いたします。子どもがスマホ・SNS等で苦しむことがないように、是非、参考にしてください。

- ネット依存・ゲーム障害は、ヒトをヒトたらしめ、思考や創造性を担う、脳の「前頭前野」の働きを抑制
- 国際疾病分類に「ゲーム障害」が追加（疾病であり予防の手立てが必要）
- 家庭で考えられる予防・対策
 - ・ 早い段階からの情報端末の本人所有を避ける。
 - ・ 情報端末は居間などの共有スペースで使用させる。
 - ・ インターネット利用のルールを作り、守らせる。
 - ・ 部活・塾・趣味特技など社会的活動を多く経験させる。
 - ・ ゲームにのめり込みがちな性格等、心配な場合は、使用を熟慮する。
 - ・ インターネットやゲームの使用時間について、日記をつけるなど、現

状を可視化する。

- ・ 本人自身が制御できるように計画を立て実行できるよう援助する。
- ・ 金銭面に関して、家族が確実に制御する。
- ・ 生活のリズムを崩さないように援助する。(特に寝る時間と起きる時間)

○ 大人ができること・すべきこと

- ・ フィルタリングの設定（18歳未満設定の義務）（昨年度の痛ましい事件も設定がされていたならば）
- ・ 使わせるならルール作り（一方的に押し付けず、子どもとよく話し合う。ペナルティは子どもが決める。）
- ・ 大人が手本を（子どもに誇れる使用・子どもと共に考え続けるセキュリティ設定）

◇福島県警察本部「あとがこわいでネット被害防止」

スマホの約束6箇条

- あ・・・ 会わないで！（知らない人と）
- と・・・ 撮らないで！（自分の裸を）
- が・・・ 画像を送らないで！
- こ・・・ 個人情報を書き込まないで！
- わ・・・ 悪口を書き込まないで！
- い・・・ いじめないで！（ネットを使って）

警察庁によると、2019年にSNSを通じて犯罪に巻き込まれた18歳未満の少年・少女は2082人で前年より271人増加し、統計が残る08年以降で最多となった。罪種別では、児童買春・児童ポルノ禁止法違反が1099人、青少年保護育成条例違反が844人で性犯罪が大半を占めた。スマートフォンの普及にともない、ツイッターなどの利用者が中高生にも増えていることが背景にあるとみられている。警察の幹部は「手軽にやりとりできる反面、悪意のある人物とも簡につながってしまう」と指摘する。

【福島県警察署少年課より】 学校関係者、保護者の皆様へ

動画や写真を投稿するSNSが人気を集めています。このため、保護者の知らないうちに、子供たちが知らない人と連絡を取り合い、顔見知りになることが考えられます。また、相手に直接個人情報を教えていなくても、何気ない文章や写真の投稿で個人情報が特定されたりすることもあります。子どもにスマートフォンやSNSを利用させる際は、「知らない人とは会わない」「連絡を取らない」「個人情報等につながる情報をネット載せない」等の家庭内でのルールを作るなど、犯罪の被害やトラブルに巻き込まれないよう指導をお願いします。